

PROFILE

(株) BuzzerBeat

齋藤 工宝詞

SAITO KOJI

現在 アパレルショップ1店舗、ギフトショップ3店舗を経営し、さらに 昨年末イベント会社 (株)BuzzerBeat を立ち上げる。BuzzerBeat とは バスケット用語で、終了間際のブザーが鳴っている時に決める【逆転シュート】の意味である。人生の逆転シュートをあきらめていない方を 応援したい！という想いを込めて、自らもブザービーター（コーチングコンサルタント）として活躍中です！



わたしの履歴書

名前は？ / 齋藤 工宝詞 (本名です)

年齢は？ / これが・・・結構いってます(笑)

出身地 / 埼玉県加須市在住です

出身校 / 國學院栃木～東京商科学院

資格 / 無駄にいっぱい持ってます(笑)

経歴 / 西田塾20期・須田塾特別期卒



Episode

物心ついた時から商人の子で生まれ、家業の忙しさから当時の女性スタッフの方々に育てられる。その経験からチームとは、職場とは、小さいながらも幼少の頃から研究しはじめ、中学時代に最愛の父を亡くし、本格的に【リーダー学】に目覚めて、商業の道を歩むこととなる。しかし、本に書いてあるものと、現場のギャップに苦しみ、家業を継いだのちも、自分のお世話をしてくれたベテランスタッフと意見の対立が続き、実践と机上の空論に悩む。その後、家業のアパレルとは別に、ギフトショップを立ち上げ勢いに乗るが、3店舗目がまさかのブレーキ！今までの戦略が他県では全く通用せず、売上0円が続く日々・・・果たして私は、どんな戦略で大逆転を起こしたのでしょうかそれは、忘れかけていたとっても大切なことでした。。ぜひ当日、お会いできることを楽しみにしております！



ブザビへの思い

私の小さな頃の夢は、バスケットのコーチ(学校の先生)になることでした。そのきっかけは、高校の時に顧問の先生が入院され、臨時の先生が部活動をみてくれた時、私達は快進撃を続けました。その時、「人は出会いで変わる」と確信を持ちました。しかしその後、靱帯断裂の怪我をしてしまい、バスケットの道は絶たれてしまった・・・。その後、家業の商売を継ぐことになるのですが、ベテランスタッフさんとの間に苦しむことになります。思いがバラバラでした・・・。お世話になった御恩もあるため、立場上難しく、情熱を抑えられない私は、ギフトに道を求めました。のちに埼玉で売上1位になることになるのですが、その間、同業の中では資金繰りがうまくいかず、自ら命を絶つ人もいました。本部への期待と怒りが入り混じり、本部がやらねば俺がやる！と自らコーチングという立場となり、「絶対に俺が救う！」という想いのもと、幼少から続けていた独自の理論をまとめ同業販売店を東西奔走しました。その間、PTA 会長も務めさせて頂き、登校拒否のお子様と向き合ったり、心の病と向き合っているスタッフさんが復帰されたりと連絡をいただき、2012年(春)にスタートする予定の(株)BuzzerBeat を前倒し、コーチングという仕事をさせて頂いております。